

事業承継から経営継続につなぐ一連の支援

水上村商工会 氏名 藤川 晃司

事業者名：タタミの愛甲

業種：畳製造業



事業所外観

担当者コメント

父親から息子への事業承継。

将来的な労働力不足へ対応するために「省力化」「稼働効率・生産効率の向上」に向けた一連の支援となった。

支援テーマ

	創業
	経営革新
	地域資源活用・新連携
	農商工連携・6次産業
	販路拡大・販路支援
	海外展開・海外販路開拓
	事業再生・再チャレンジ
<input type="radio"/>	事業承継
	ものづくり
	雇用・労務関係
<input type="radio"/>	資金繰り
<input type="radio"/>	持続化補助金
<input type="radio"/>	その他

支援前の課題

【企業概要】

現経営者が4代目。22歳の年に修行を終え帰郷し、専従者となる。農業との兼業で事業を展開していたので、27歳の年に前経営者の父より畳製造業を事業承継し、現在に至っている。

人吉球磨における同業他社の数は後継者不足の影響で、約15年前には25社あったが、現在14社程度になっており、10年後には6社程度まで減少する可能性がある。

就業する人員体制は、代表者及び父・母の3人で、「畳製造」と「農業」を相互に補完し合いながら仕事を行っている。

(創業) 1910年1月

(代表者の年齢) 32歳

(現状分析)・強み → 資格を有しており技術力が高い。経営者が若い。新しいニーズにも柔軟。

・弱み → 過疎化地域における労働力不足

・機会 → コロナ禍の今、畳の抗菌作用が見直されている。

・顧客ニーズの把握 → 工務店と連携して和洋室どちらのニーズにも対応できる。

・競合する店舗等 → 競合店の廃業が進んでおり、商圈が拡大している。

【支援課題・支援計画】

(支援課題) 家族経営だからこそその「労働力不足への対応」と「畳製品の新しい展開」

(短期計画) 「機械化による省力化・労働生産性向上」と「新商品開発」

(中長期計画) 「新商品の販路開拓」と「後継者の育成」

支援内容

フェーズ1 「事業承継」と「持続可能な経営」に向けた支援

22才の時に稼業に従事しはじめ、先代の父親と共に経営に取り組んでいた。農業を兼ねていたため、畳製造業部門を先代より事業承継し営業を開始（27才-2017年）持続可能な経営に向けて、新商品「洋風家屋にマッチする畳」の商品開発を希望されたため、事業承継補助金の申請タイムリミットとなるタイミングもあり、商品開発に必要な設備導入のための事業計画策定支援を実施。事業承継補助金の採択を受けて「エア式框縫い機」を整備。商品開発と販路開拓に取り組んだ。（2019年）

同時に先端設備等導入計画の認定も支援し、税務面でのメリットも活用した。

フェーズ2 「労働生産性向上」に向けた支援

（2022年）事業への従事者は、基本的に代表者1名である。多忙な時期には父母が、農業と兼務しつつ、畳製造事業に応援に入っている状況だった。畳の製造は1枚あたり30kgの重量を、上げ下ろしや運搬はとても重労働である。労働者の確保が困難な郡部の地域であり、両親も年を取ってくると厳しい作業となるため、作業の機械化・効率化は重要な課題であった。

コロナ禍もあり、営業面における接触機会の低減も喫緊の課題であったため、機械化による作業効率向上もあわせて、持続化補助金低感染リスク型ビジネス枠を活用し、バッテリー式フォークリフト、重量物平積み棚、電動キャタピラー式運搬車を整備した。

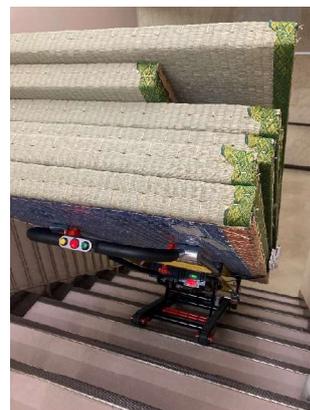
（進捗・成果）

「洋風家屋にマッチする畳」は新築・リフォーム工事ともに洋風化が進んでいる。床暖房を活かしつつ「畳」のある空間にニーズがあり、フローリングの上に、カーペットのように薄い畳を敷いて生活する空間に需要がある。また、地元の大工さんや工務店と一緒に、施主さんへの提案営業をしている。住宅展示場やテレビCMで、すでに完成イメージを持っている施主さんも多く、ビジネスパートナーである大工さんや工務店からも、営業しやすくなったと喜んでもらっている。

また、支援で取り組んだこれらの設備投資により、重労働であった作業の軽減、製品保管面における手直しコスト削減、保管枚数を増やせること・作業スペースが広がることで、生産効率がアップした。さら、運搬時における運搬時間の短縮など、接触回数・時間を大幅に減らすことが出来た。ここでも、先端設備等導入計画の認定も支援し、税務面でのメリットも活用した。この効果は、将来的にも少人数で作業を継続する事が可能となり、経営持続化に大きく貢献出来た。



「エア式框縫い機」



電動キャタピラー式運搬車

事業者様の声

帰郷後すぐに青年部に加入し、色々な勉強・経験をしました。

「事業承継補助金」は、商工会から情報をもらわなければ、知らないままチャンスを逃すところだったので、本当に良かったです。

今後も事業の継続に向けて、工場の省力化に取り組む予定です。

取組の中で、おすすめしたい自社のアピールポイント

「畳」は和室のイメージが強いですが、洋室にマッチする様々なバリエーションの畳を自社で製造しています。お客様の夢の実現を応援します。

これからの高齢化社会に向けて、転んでもケガをしにくい「衝撃緩和型畳」に取組みます。